

地区別及び分野別懇談会参加者に対するアンケート調査結果

平成27年6月

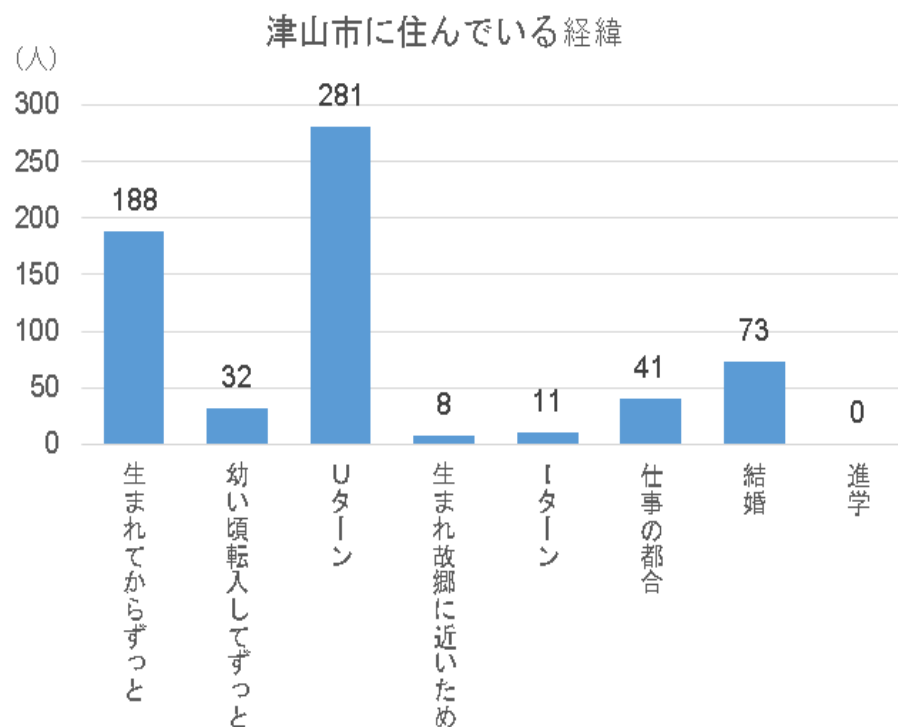
津山市総合企画部政策調整室

【調査概要】

- ・ 回答総数 651（設問により有効回答数は異なる）
- ・ 調査日：平成 27 年 1 月 17 日～2 月 22 日（懇談会会場にて）
- ・ 調査対象：地区別および分野別懇談会参加者
（男性 79.1% 女性 20.9% / 平均年齢 63.7 歳）
- ・ 調査手法：会場調査・記入式

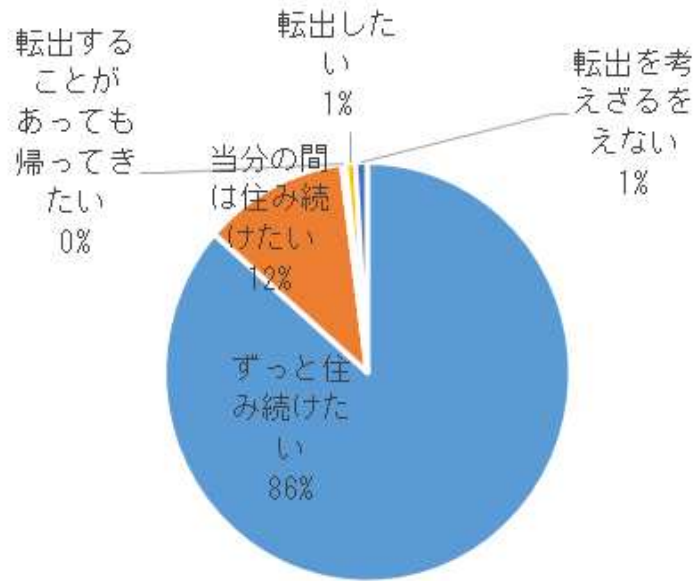
あなたが、津山市に住んでおられる経緯について、おたずねします。

- 1 位 津山市で生まれ育ち、進学や就職で転出した後、Uターンしてこられた方
（44.3%）
- 2 位 生まれてからずっと津山市に住んでいる方（29.7%）
- 3 位 結婚（11.5%）
- 4 位 仕事の都合（6.5%）



今後も津山市に住み続けたいですか？

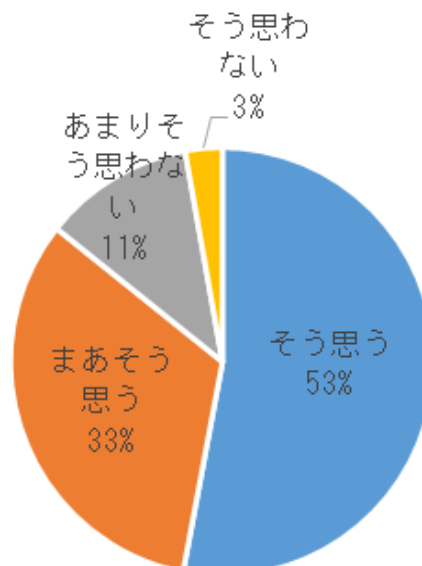
- ・定住意向（98.2%）が非常に強い。



今後も津山市に住み続けたいか

お子さんやお孫さんにも津山市に住み続けてほしいですか？

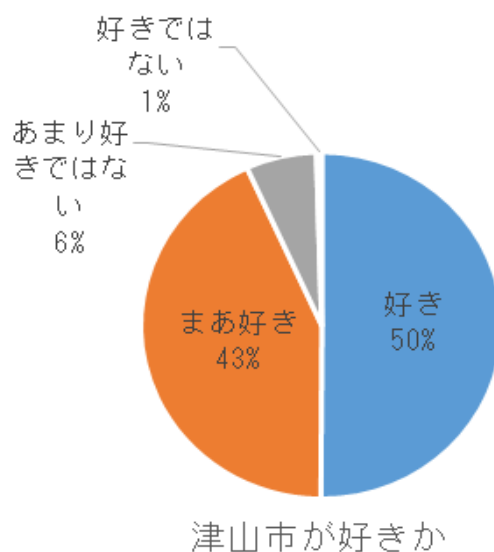
- ・子や孫にも住み続けてほしい意向（85.7%）



子や孫にも住み続けてほしいか

津山市が、好きですか？

・好き、まあ好きが、93.1%で、津山市への愛着は強い。

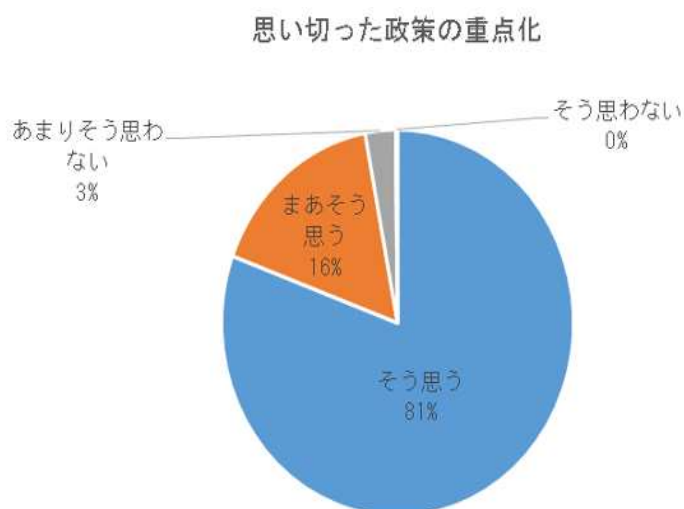


「好きな理由」としては、「生まれ育ったから」といった回答が多いが、その他、災害が少ない、自然が豊か、住みやすい、静かな環境、人情が厚い、歴史・文化がある、といったものが挙げられている。

今後、人口が減少していく津山市において、世代別の政策優先の順位について

- 1位 現役世代 56.5%
- 2位 子ども世代 29.9%
- 3位 高齢者世代 13.6%

人口減少を克服し、活力ある津山市にするために、思い切った政策を、重点的に行うことについては、97.0%が賛成している。



自由記述欄の取りまとめ結果

設問9

(1) 10年後の津山市は、どうあるべきですか？

1位	住みやすいまち	16.9%
2位	明るく、いきいき、生きがいの持てる活力あるまち	11.5%
3位	安全・安心なまち	6.8%
4位	自立自助、支え合い、助け合いのまち	6.1%
4位	若者が生き生き生活できるまち	6.1%
6位	高齢者が安心して住めるまち	4.7%
6位	自然と調和したまち	4.7%

(2) 10年後の津山市のあるべき姿を実現するために必要な施策

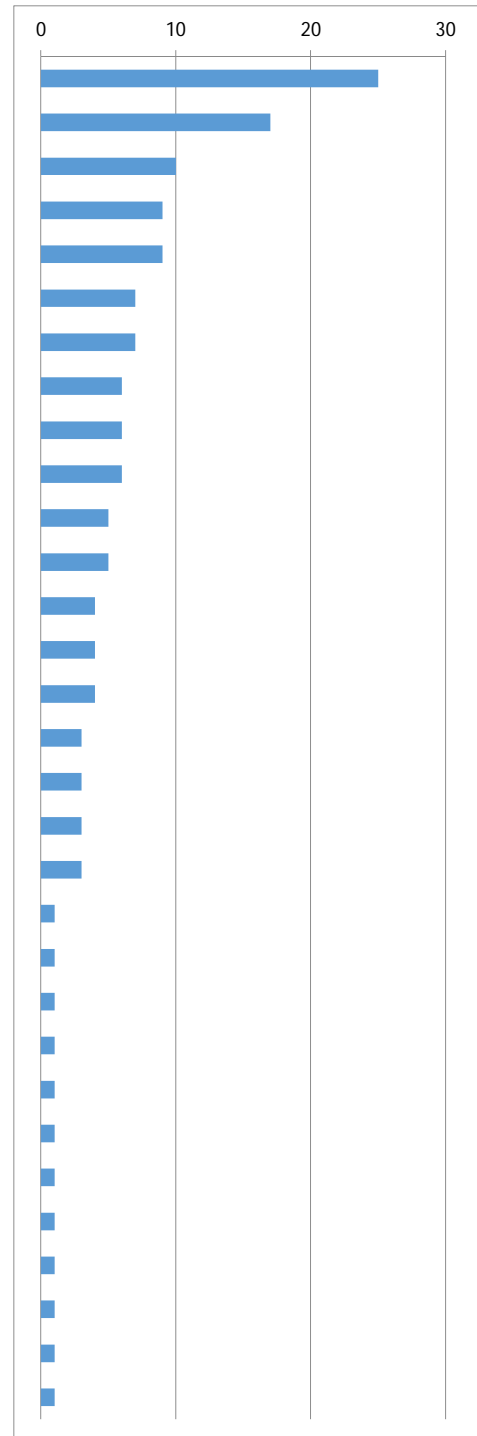
1位	若者の働く場確保と定住化施策	15.6%
2位	働く場の確保と働きやすい環境づくり	13.2%
3位	子育て支援策	6.7%
4位	観光振興施策	5.5%
4位	高齢者施策	5.5%
6位	人口減少対策	4.3%

設問10 第5次総合計画策定に向けての意見・提案

1位	総合計画策定に関するもの	45件
2位	雇用・定住に関するもの	31件
3位	教育・人づくりに関するもの	28件
4位	若者のための政策に関するもの	23件
5位	まちの姿に関するもの	21件
6位	市民参画に関するもの	19件
7位	行財政に関するもの	18件
8位	地域づくりに関するもの	10件
9位	魅力づくりに関するもの	8件

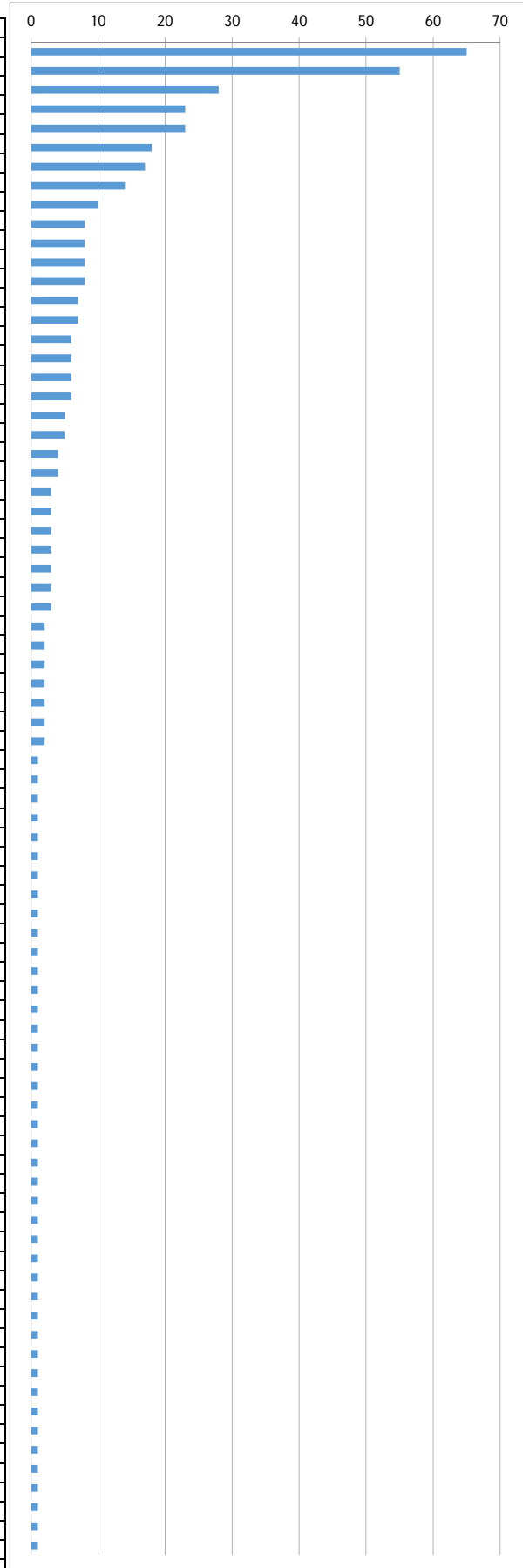
10年後の津山市は、どうあるべきですか？

番号	10年後に目指すまちの姿	意見の数	割合
1	住みやすいまち	25	16.9%
2	明るく、いきいき、生きがいの持てる活力あるまち	17	11.5%
3	安全・安心なまち	10	6.8%
4	自立自助、支え合い、助け合いのまち	9	6.1%
4	若者が生き生き生活できるまち	9	6.1%
6	高齢者が安心して住めるまち	7	4.7%
6	自然と調和したまち	7	4.7%
8	教育のまち	6	4.1%
8	コンパクトシティ	6	4.1%
8	魅力あるまち	6	4.1%
11	3世代が仲よく暮らせるまち	5	3.4%
11	歴史・文化を活かした観光都市	5	3.4%
13	子どもがたくさんいるまち	4	2.7%
13	地域の特色を活かしたまち	4	2.7%
13	福祉と医療のまち	4	2.7%
16	健康で笑いのあふれるまち	3	2.0%
16	生涯学習・スポーツのまち	3	2.0%
16	働きやすいまち	3	2.0%
16	県北の拠点都市	3	2.0%
20	観光と教育のまち	1	0.7%
20	教育と福祉のまち	1	0.7%
20	西の小京都	1	0.7%
20	子育てしやすいまち	1	0.7%
20	産業のまち	1	0.7%
20	城下町のよさを活かしたまち	1	0.7%
20	おいしい食のまち	1	0.7%
20	女性の生活しやすいまち	1	0.7%
20	田園都市	1	0.7%
20	文化のまち	1	0.7%
20	文化と産業のまち	1	0.7%
20	岡山市のベッタウン	1	0.7%
合計		148	100.0%



10年後の津山市のあるべき姿を実現するために必要な施策

番号	施策名	意見の数	割合
1	若者の働く場確保と定住化施策	65	15.6%
2	働く場の確保と働きやすい環境づくり	55	13.2%
3	子育て支援施策	28	6.7%
4	観光振興施策	23	5.5%
4	高齢者施策	23	5.5%
6	人口減少対策	18	4.3%
6	教育の充実強化と学力向上施策	17	4.1%
8	交通施策	14	3.3%
9	農林業振興施策	10	2.4%
10	リターン対策	8	1.9%
10	産業振興と地場企業の育成	8	1.9%
10	情報発信の強化	8	1.9%
10	地域づくりのための施策	8	1.9%
14	空き家対策	7	1.7%
14	子どもの人口増のための施策	7	1.7%
16	医療の充実	6	1.4%
16	津山城跡整備	6	1.4%
16	市民参画	6	1.4%
16	大学の充実と誘致	6	1.4%
20	津山駅前整備	5	1.2%
20	婚活支援施策	5	1.2%
22	女性の働きやすい住みやすい環境づくり	4	1.0%
22	歴史・文化・地域の魅力の継承	4	1.0%
24	映画館建設	3	0.7%
24	現状維持でよい	3	0.7%
24	人材育成と後継者育成	3	0.7%
24	地域の資源の活用	3	0.7%
24	施策の重点化	3	0.7%
24	特産品開発	3	0.7%
24	保育園の充実	3	0.7%
31	議員定数削減	2	0.5%
31	公民館の活用	2	0.5%
31	社会福祉の充実	2	0.5%
31	集落営農	2	0.5%
31	税の軽減	2	0.5%
31	地産地消	2	0.5%
31	資金の確保	2	0.5%
38	PTAの活性化	1	0.2%
38	遊ぶ場の確保	1	0.2%
38	インフラの整備	1	0.2%
38	河川美化と整備	1	0.2%
38	観光と農業の連携	1	0.2%
38	教員の交流	1	0.2%
38	国県との連携強化	1	0.2%
38	県南との交流	1	0.2%
38	広域連携	1	0.2%
38	公共施設の再利用	1	0.2%
38	交流人口増のための施策	1	0.2%
38	赤字の解消	1	0.2%
38	里山資本主義の確立	1	0.2%
38	産業と文化の振興	1	0.2%
38	市町村合併	1	0.2%
38	市内美化施策	1	0.2%
38	住居施策	1	0.2%
38	城西地区整備	1	0.2%
38	商店街の活性化	1	0.2%
38	城東地区整備	1	0.2%
38	スーパー誘致	1	0.2%
38	スポーツ振興施策	1	0.2%
38	生活環境の整備	1	0.2%
38	西部地区振興	1	0.2%
38	先進学術研修施設建設	1	0.2%
38	大胆な施策	1	0.2%
38	寺社の駐車場整備	1	0.2%
38	鳥獣害対策	1	0.2%
38	津山の地理的特徴の活用	1	0.2%
38	都市計画道路の見直し	1	0.2%
38	インフラ整備	1	0.2%
38	都市計画区域の再編	1	0.2%
38	年金問題の整理	1	0.2%
38	避難所の確保	1	0.2%
38	保・幼・小3までの一貫校建設	1	0.2%
38	まちの質の向上	1	0.2%
38	美作市・真庭市との連携	1	0.2%
38	無電柱化	1	0.2%
38	遊休地の活用	1	0.2%
38	幼児教育の充実	1	0.2%
38	幼稚園・保育園の統廃合	1	0.2%
38	幼稚園のこども園化	1	0.2%
	合計	418	100.0%



第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	総合計画策定に関するもの	趣旨
1	まだまだ旧来の都市構想であると思われる。	これまでにない計画を
2	津山は一方通行が多いため何か良い考えが必要となる。	これまでにない計画を
3	新しい観光物に税金を投入するより、今までの津山市鶴山公園等を活用すれば良いのではないのでしょうか？(津山市は桜の名所として大変有名です。活用価値ありとと思っています)	新しい津山市の特徴を作るべき
4	文化都市という名目ではとても素晴らしい事ですが、城東も、もっと思い切った整備を行って、広島県竹原の街のように思い切って道路を石だたみにしてイメージを変える。由布院の話が出てましたが、にぎやかな店がならぶ所には別に珍しい見る場所はなかったのに何故か人が集まって来るのは不思議に思います。	イメージチェンジ
5	30代、40代の委員を多く取り入れる。コンサルを入れることも必要。	思い切った施策を
6	市長中心に仕掛けをタナボタ式でなく、自分達でつくる。思い切った施策を！！	思い切った施策を
7	集中と選択、思い切った政策立案が必要。	思い切った施策を
8	津山市が生き残る為にはどこでもあるようなありふれた地方都市を目指すのではなく全国に岡山といえば倉敷でなく津山をイメージしてもらえようオンリーワンを目指してもらいたい。その為には行政・住民が血を流す覚悟が必要である。	思い切った施策を
9	近隣の市町村では、特色を活かした施策を打ち出している(林業・バイオマス等)	思い切った施策を
10	思い切った政策(目玉商品)	思い切った施策を
11	合併してよかったと思われる市運営をお願いし、希望のある計画を策定して下さい。	希望のある計画に
12	「個人を大切にすること」に重点をおいて下さい。	個人を大切にするまちに
13	世の中が変わっても、1度決まったことがくつがえらないということが、行政の大きな課題だと思います。必要によっては途中で踏みとどまる勇気が必要なことではないでしょうか。	施策を見直す勇気を持って
14	市の職員が多いため、役所の課、係で案を考えてほしい。	市の職員で考えてほしい
15	もっと何に特化した意見を出すのか、何を話すのか具体を示すべき	市のビジョンを
16	自然に津山に住みたくなる環境を作っていくために今、何をやるべきか、本気で考えて欲しい	住みたくなる環境づくり
17	住んでよかった街づくり	住んでよかったまちづくりを
18	先見性と、過程を織り成す計画としてください。	先見性をもった計画に
19	行政・政策ももちろんだが、見えなかったにもかかわらず、空から鶴の形を描いたらいいが、今後街づくりする時に全景も考えながらバランス良く行ってほしい。	全体のバランスのとれた計画に
20	地方創生でテレビ等で紹介されています、徳島のIT事業、隠岐の島の定住事業、私たちがアイデアを出し、一生懸命頑張ります。未来を見つめて行政も頑張ってください。	他都市の成功例を参考に
21	地方でないといけない事、地方の良さを見直し考える。	地方ならではの計画を
22	津山に住みたいと思える計画を作ってください。	津山に住みたいと思える計画に
23	ユニークな津山街づくり(アイデア)を時間をかけて、考えてください(市と市民が一つになっ	ユニークな施策を
24	色々な課題があるかとは思いますが、市民に分かりやすくコンパクトに図を使って、カラフルにして配布してほしい。	わかりやすい計画に
25	今日出た意見をよく検討して下さい。提案どおりに進めて下さい。	実効性のある計画を
26	行動が進むようお願いいたします。	実効性のある計画を
27	本日出た意見を大切に目直ししていただきたいと思ひます。	実効性のある計画を
28	美術館は人が集まらず、無駄な投資だと思うのでもう少し効果のある施策で全国に発信できるものを期待します。	効果的な施策を
29	絵に描いた餅とならぬよう、実現可能であるが、夢のもてる計画としてほしい。	実効性のある計画に
30	大・中・小の計画があるがまずは小さいこと、実行できることから行い一つ一つ積み重ねて	できることから一つ一つ
31	できることを少しでも実現していただけたらと思ひます。	できることから一つ一つ
32	1つでも2つでも実行に移して頂きたい	ひとつひとつ実行を
33	人間のライフプラン(どう生きるか)を総合的に盛り込んだものにしていただきたい。	ライフプランに合った計画を
34	法律との関連もあるが、市民の利便性を考慮して、土・日曜、祝祭日の開庁を検討いただきたい(市民ニーズの高い部署だけでもご検討いただきたい)	市民の利便性向上を主眼に
35	総合計画の中に女性の視点を反映させてほしい(特に若い女性の意見をしっかり聞い	女性の視点を
36	「新市建設計画」におけるゾーニングの再構築を。 例：勝北地域を含む津山東部を、農業農林 カントリーゾーンとして位置づけて、特色ある将来像を。 勝北マルシェ 陶芸の里「雄杉焼」コース <六次産業化>と<伝統文化：黒媛陶棺との組み合わせ> 塩手池 声ヶ丸経由<那岐登山コース> <津川ダムコース> キャッチフレーズ“市民が主役！笑顔あふれるふるさとつやま”の継続！	新市建設計画ゾーニング再構築
37	早急に総合計画を策定して実行して欲しい。	スピード感を持って
38	行政はスポーツ・武道について先頭にたちスポーツ振興、武道振興に機関車の役割をはたすべきだ(市民広報にスポーツのページをもうける)	スポ ッ振興の視点
39	スポーツにも力を入れてほしい。津山からのスポーツ選手の輩出、強化。	スポーツに力を
40	コンサルを入れることも必要。	専門家の意見を
41	阿波のいい所を発見してほしい。	地域資源の活用
42	阿波のいい所、自然や人柄、土地を活かしたまちづくり。	地域資源の活用
43	現在の状況になるのは、3、40年以前より推測できたが、有効な対策がとられて来なかった。5次10年の策定が応急対策だけにしない様、50年100年先を見据えた事で策定して	応急対策にならないように
44	文化都市	文化
45	人の生活の中で、文化・スポーツが大切であると直感しています。人と人が集まり、交わって自分を刺激して高め合い、共に生きていければいいと思います。	文化とスポーツに力を

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	雇用・定住に関するもの	趣旨
1	「今の高齢者だけよくて、将来は、まっ暗」では、若い方は納得できないと思う。 福祉での雇用増の取り組みを	雇用の創出
2	津山は東京のようにはなれません。若い人たちが都会に出ていくのはとめられません。でも、他県からの移住で人口を増やす事はできます。昔から津山に住んでいる人は津山の良さがわからないが、他県の人にはそれがみえます。意見を求めてみてはどうでしょう	IJUターン施策
3	U・ターン、空き家のデータベース化 格安賃貸(住居確保)	IJUターン施策
4	日本人口の絶対数が足りない以上、世界へ目を向けて定住までして貰う制度も考えていかなければいけないのではないかと。群馬県大泉町も一つの例。	外国人移住者
5	雇用や若者の定住化政策	定住化施策
6	少子化防止には結婚できて、子育てが十分出来るだけの働き口を多数準備することが望	雇用の場の拡充
7	雇用の活性化が若者の定住につながる	雇用の場の拡充
8	津山市に住みたい環境の整備、雇用・福祉の環境づくり	働く場の確保
9	働く場所がつけられる土壌が出来る対策を。雇用対策。	働く場の確保
10	雇用の促進が1番だと思う。事業所の優遇・雇用先の確保。人口の確保と市民全体の力を上げる方向が良い。	働く場の確保
11	雇用の充実	働く場の確保
12	雇用確保のための産業を発展させる	働く場の確保
13	外から出なく、今あるものを発掘して、雇用の場のつくる取り組みが必要。	働く場の確保
14	雇用の場の確保が必要	働く場の確保
15	多くの若者が定住できるよう、雇用の場の確保が最重要と考えます。	働く場の確保
16	子どもたちが、津山市に居てくれるように、雇用の問題などを考えてほしい。	働く場の確保
17	若い人が住みやすくなるように、仕事(働く場所)が必要	働く場の確保
18	多様な働く所をつくる	働く場の確保
19	もっと仕事の場を増やしてほしい	働く場の確保
20	定住と働く場所の計画。河辺地区としては中核工業団地のトヨタの用地の活用を、又、Uターンの若者の働く場所。現在40才までは、まだ働く所があるが、40才過ぎると働く場所はほとんど無い	働く場の確保
21	就職先の確保をする取り組みをしてほしい。	働く場の確保
22	若い人の働く場所を作る。	若者の働く場の確保
23	起業家の支援等、雇用の場所、生活が若者に出来る市として、最優先で取り組んで頂きたい。又、継続した対応を願います。	若者の働く場の確保
24	若者が定住出来る為に職場を確保する 人口増	若者の働く場の確保
25	若い人が生活するには働く場所の確保が必要	若者の働く場の確保
26	子どもたちが働ける企業の誘致を促進してもらいたい(定住する為)	若者の働く場の確保
27	企業誘致に対して積極的に取り組み、企業に対しての税等の免除等で若い人の働き場所を確保する。	若者の働く場の確保
28	30代、40代にもっと頑張ってもらいたいと思います。	若者の働く場の確保
29	非正規雇用が拡大しても若人が伸びない。 非正規雇用が拡大すると就職率は上がっても、若人の夢にはつながらないと思う。	非正規雇用の正規化
30	津山市が開発した住宅団地を造成して、安く住宅を建築したい人に売却する 人口減にストップがかかる	住宅団地の造成
31	団地の造成を促進して、外からの移住を促進する。	住宅団地の造成

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	教育・人づくりに関するもの	趣旨
1	「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」その様な考え、行動のできる人間が一人でも多くいる津山市であってほしい。	思いやりのある人づくり
2	人づくりの実践ができ、いきいきした津山の実現を目ざしてもらいたい。	人づくりの視点
3	在宅医療の担い手、人を育てる。	人材育成
4	智頭の“森の幼稚園”のように、市内から送迎バスを出すなどして園児を通園できるようにして再園させてほしい。	阿波幼稚園の再園
5	保育園も統合され、中学校も1校、小学校も3校を統合してはどうか。	保育園・小中学校の統廃合
6	保育園を増やし、定員内でゆとりのある保育を。	保育園の増園
7	保育環境と職員の賃金の改善を	保育園の待遇改善
8	保育園、幼児教育から連携し、10年英語授業と中高一貫校	幼少期からの英語教育
9	人材育成を集中してほしい。大勢を集めての講演会やバスに乗って半分飲み会旅行は不要。何か「やりたい！」という若手が日本全国動ける経費	人材育成に集中を
10	各界の「紳士」なりリーダー育成を。	人づくり
11	子どもの学力向上	学力向上
12	学力向上においては1クラス30人に4担当の決まりを崩し、子どもの状態に応じたものを、企業見学も積極的に行うべき	学力向上
13	学校教育の充実。1学級20人できめこまかい指導、学力アップ	学校教育の充実
14	冷房の設置を各校の教室へ。	学校に冷房設備を
15	小・中・高校生の教育にも現場職員にだけ、まかせるのではなく、市民が教育推進に向け目を向け、意見が言える、風通しのよい教育現場であってほしい。中・高一貫校ができたが、大事に育ててほしい。県立であっても、希望がもてる最初の一步であり、最初の一校だと思っています。津山市教育推進のためにどうかよろしく願います。	教育の向上
16	教育(小・中学校)レベルの向上する施策が必要。教育者の充実を図られ	教育の向上
17	教育に力を入れてるべき。	教育の向上
18	教育の充実をお願いしたい。	教育の充実
19	教育の再生により、人間らしい(本来の日本人の精神性を備えた人)を育	教育の充実
20	人口減少社会に対応するためには、学校教育の場などでの正しい性教育の実施が必要	正しい性教育の実施
21	子どものころより、地域の実情や課題を知り、自分たちのものとするために小学校の学習に取り入れていってはどうでしょうか。	地域について子どものころからの教育強化
22	人づくりに注力して本当に良い成人を目標とした教育の取り組み。	道徳の重視を
23	ひきこもり問題を中心に考えることが大切。	引きこもり問題を中心に
24	小・中・高の教育の場で、子どもたちに、地元で働くことの魅力を学ぶ場(考える場)を継続的に創れないでしょうか。	幼少期からの地元教育
25	小学校のうちに教育をしっかりやって行きたい。スポーツにも力を入れてほしい。	幼少期の教育の強化
26	子どもより親の教育を	子どもより親の教育を
27	家庭が温かい場所である必要があると思います。温かく、楽しい家庭であれば、子ども時代が楽しく過ごせ、地元愛も生まれます。	家庭教育の充実
28	教育において文化水準の向上を図る。	教育・文化水準向上

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	若者のための政策に関するもの	趣旨
1	各界の意見を取り入れることは大切である。30代・40代の人々も将来のビジョンを持っていると思うし、津山の将来像を考えるように仕向けなければならない。パブリックコメントやメールによる意見聴取も取り入れて、若い人の意見を出や	30代40代の意見反映を
2	学生等にも意見を聞いた方が良いのでは。	学生の意見を聴くべき
3	住み良い市に計画し若い者が住み良く希望にもえて生活出来る様願っています	若者が希望を持てるまち
4	若い夫婦が経済的に子育てしやすい環境づくり。	若者が子育てしやすい環境づくり
5	若者が集える拠点作り等(研修、研究の拠点を作る)例えばITなど	若者が集える拠点づくりを
6	若者が夢を持って生活できる環境になれば、定住化が確保できるのでは・・・。	若者が夢を持てるまち
7	若人の夢につながる様な社会に。	若者が夢を持てるまち
8	市の若い人の意見を十分配慮すべき(5年、10年後の策定の責任を持たず。)	若者の意見と聴く
9	30代、40代の委員を多く取り入れる。	若者の意見を聴く
10	夢と魅力のある津山市に若者の声を取り入れる。	若者の意見を聴く
11	もっと若いものと話し合ってください。	若者の意見を聴く
12	今日の会は老人の人が多いがもっと若い140才～以上の人に来て欲しい。	若者の意見を聴く
13	若い人の意見も聞く事も必要なことではないでしょうか。	若者の意見を聴く
14	若者のアイデアをしっかりと取り入れること。	若者の意見を聴く
15	若者が定住出来、子育てしやすい環境をつくる。	若者の住める住宅整備
16	若者が住める町(衣・食・住)外に出ていかない様にする事。子どもを外に出ない様に教育する(津山の町が良い町のように)	若者の定住化
17	若者が定住するための施策の推進。	若者の定住化施策を
18	仕事(働く場所、若い人が住みやすくなるように	若者の定住化を
19	多くの若者が定住できるよう、雇用の場の確保が最重要と考えます。	若者の定住策
20	若者が定住出来、子育てしやすい環境をつくる。若者のアイデアをしっかりと取り入れること。	若者の定住策
21	高齢者の要支援者に対しての福祉、保護を重点に、若者が住みやすい、子育てがしやすい都市を目指す。	若者は住みやすいまち
22	子育て世代の住宅提供など	若者への住宅提供
23	地域活性化の為に若者優遇する政策を	若者優遇施策

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	まちの姿に関するもの	趣旨
1	老人から子供まで安心して暮らせる街に	3世代が安心して暮らせるまちを
2	健康で安心して暮らせるまちづくり	安全安心のまちづくりを
3	安全安心の街づくり。ハードではなく、ソフト 職場から災害時出やすい状況をつくる。	安全安心のまちづくりを
4	老人から子どもまで安心して暮らせる街に	安全安心のまちづくりを
5	通学路の交通安全、及び防犯対策(防犯カメラの設置)など安全・安心のまち	安全安心のまちづくりを
6	安心して出産(若者の人口増)、教育もできる津山への政策	安心して子育てできるまちに
7	子育て支援に力を入れてほしい。現金も必要とは思いますが、それよりも夫婦が安心して働ける環境を作ってほしい。 具体的には、保育園だけでなく、病児等になっても軽度であれば預けられる(安心して)所(中心部西に2ヵ所、病院併設の施設がある)学童保育と言うか、放課後児童クラブをしっかりとしたものにしてほしい。	安心して働ける環境づくり
8	親が安心して仕事ができる環境の充実をしていかないといけない。	親が安心して仕事ができる環境
9	現在、自分は幼児2人の子育てをしながら、仕事もし、大家族で生活しています。両親・祖父母の老後(今後)の事も考えないといけないし、子ども達の将来の事も考えたり、また今現在の子育てサービスも利用させて頂いたり、またもう少し良くなって欲しいと思う事等、様々思いはありますが、自分自身が「幸せだな」と感じていられる事が大切です。より良い津山市になりますように。	幸せだと思えるまちに
10	年齢、性別関係なく、皆が集う事のできる市になれば良いと思っています。思いやりのある人達であふれる、もう一度津山に行きたい、もしくは住みたいと思える街づくりをしてほしいです。	住みたいまちに
11	津山市に住みたい環境の整備、雇用・福祉の環境づくり	住みたいまちに
12	高齢者を助け合う市民の町づくりを市民全体に広がるような計画を策定していただきたい。	助け合いのまちづくり
13	人口減はまめがれない。悲観するのではなく、人を大切にする(育てる)を津山市政に望みます。	人を大切に育てるまち
14	年齢、性別関係なく、皆が集う事のできる市になれば良いと思っています。思いやりのある人達であふれる、もう一度津山に行きたい、もしくは住みたいと思える街づくりをしてほしいです。	もう一度行きたいまちに
15	県北は安らぎの地でありたい。	安らげるまち
16	豊かなくらしのできる津山にしてほしい。	豊かなくらしのできるまち
17	今後のインフラ整備をどんな範囲で重点的にするか?たとえば中心部へ生活の拠点をまとめて「こちゃん」とした街にするとか?道路・上水道・下水道を今の調子で周辺に延ばして良いのか?	コンパクトシティ化
18	県からの補助金に頼るだけではなく、市としての意気込み = 自立心のあふれる市政でありたい。	自立心のあふれる市政
19	公共に頼られるだけの施策はこれから先は実現不可能と思います。そのためにも市民一人一人が「自分がやらなきゃ!」と思える気持ちになれるように、いかに市民として市と一体化しているんなことに取り組んでいく気にもっていけるかが大切なことだと感じています。	自立自助のまちづくり
20	人権尊重の意識を広げ、民主的で明るい津山の街をつくることは、大変重要である。街づくりは人づくりと言えます。その人づくりに、人権意識の形成は必要不可欠とである。	人権尊重のまち
21	教育都市津山(子どもは津山で学ばせよう)という都市。	教育都市

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	市民参画に関するもの	趣旨
1	今日いろいろと意見が出ましたが、ひとつずつ実現にむけてほしい。	市民参画による計画策定を
2	計画を公表し、市との市民と情報交換を多く持つ。	市民参画による計画策定を
3	皆さんのお知恵を聞いて、計画に盛り込んでください。	市民参画による計画策定を
4	市民の意見を反映できる計画にしてほしいと思います。	市民の意見反映
5	市長中心に仕掛けをタナボタ式でなく、自分達でつくる。思い切った施	市民の市政参画
6	住民1人1人の考えを改めて、皆んなで津山市の発展を考えていく。	市民の市政参画
7	地域意見を取り入れた計画づくりを。	市民の市政参画
8	市民目線をお願いします。	市民の市政参画
9	私たちもアイデアを出し、一生懸命頑張ります。未来を見つめて行政も頑張ってください。	市民の市政参画
10	市民、皆、津山の現状を良しとはしていない。そのためには市民の意識を高める必要。	市民への意識喚起
11	地元の人自身が、計画を進めて行くよう指導する必要あり。皆様は自分の事ように思っていない。	市民への意識喚起
12	市民の共有できる目標をたて、一市民もその中に取り込み、具体的な施策を進めていってほしい。	市民への意識喚起
13	市民力を活かす政策で進めていただきたい。	市民力を活かす政策
14	地域住民の意見と、客観的な視点をしっかりとふまえた、計画となるよう、お願いしたい。	地域住民の意見と外部の視点を
15	西苦田意見書はよくまとまっているので参考としてほしい。	市民参画の手法で
16	地域が大きすぎるので、出来れば町内単位での意見も必要ではない	市民参画の手法で
17	地区別懇談会のやり方について一考が必要、総合計画策定メンバーはどうなっているのか、また地元のメンバーが多いのか？	市民参画の手法で
18	外部識者の意見を聞く。	外部の意見を聴く
19	津山は交通マナー、自転車のマナー等がやや低いと思います。魅力化発信には良好なマナーは欠かせないと思いますので教育現場でもしっかりと教えて頂きたい。	マナーの向上

第5次総合計画策定に向けての意見・提案

番号	行財政に関するもの	趣旨
1	議員報酬の見直しが必要。	議会改革
2	市議会開催日を土日にするとか、市議会時間を夜間にしてほしい。	議会改革
3	行政の合理化の検討	行政の合理化・人員削減
4	職員の数、給与の見直しをしては	行政の合理化・人員削減
5	職員の資質向上	市政の改善・職員の資質向上
6	組織のスリム化等に尽力して頂きたい。	組織のスリム化
7	市役所の部署の改革も合わせて、やってもらいたい(部署の統合等)	市役所の改革
8	職員の意識改革を	職員の意識改革を
9	資金面、財政面から見た計画を考えてほしい。次世代に債務を残さない為	緊縮財政を
10	財政面が心配	緊縮財政を
11	ふるさと納税等で高齢者サービスを受けられる等、自分の親にメリットがあるならふるさと納税する。	ふるさと納税強化
12	民間財源をもっと活用すべきではないか。日本財団、競輪等の補助金の活	民間財源の活用
13	箱物はライフラインに関係するような、最低限の投資にすべき。	新たな箱物に力を入れないように
14	人口減少に伴い、箱物等を造るのではなく、道路等箱物等の維持管理に努めるべきである。	あるものの活用を
15	美術館構想があるようですが、目玉商品のない美術館で採算がとれるかどうか。箱物建築になって市の重荷にならないように考えてください。	美術館は必要ない
16	人口も減少していくので市美術館は必要ない。	美術館は必要ない
17	総合計画については、もう二度とアルネ失敗のような箱ものを造るような計画はしないでほしい。	アルネの失敗を繰り返さないで
18	1～4次計画の総括を行い、今後の百年を考えた計画を行ってほしい。	過去の計画の総括を

番号	地域づくりに関するもの	趣旨
1	地域活性化は大いに必要。	地域の活性化を
2	空家が増えてきています。何かよい利用法があればと思います。高齢者の集まれる場所が必要。	地域の拠点づくり
3	活力のある、行政を考えて、市民に振り分ける。	小さな拠点づくり
4	国も地方創生と言われた。市も地域創生で地域消滅とにならないようにしていただきたい。国が進める「小さな拠点づくり」を進め 地方の活性化につ	小さな拠点づくり
5	昔ながらの近所付きあいのできる地域づくり	近所付き合いのできる地域づくり
6	限界集落が増える中、車等に乘れなくても食料の調達ができる仕組み作りを考案して頂きたい。	限界集落の食料調達システムを
7	住宅は津山市中心部に、そして「あば」に田畑の管理耕作に山村の経営に行くような生活様式を考えてはどうか。	山村地域の地域づくり
8	地域が好きになる環境づくり	地域コミュニティづくり
9	すべてに魅力ある街にする事によって、市民1人1人が明るく、支えあいの地域づくりをすべき。	地域づくりをすべき
10	老人福祉と地域の関わり方について、考える必要がある。	地域での支え合いを

番号	魅力づくりに関するもの	趣旨
1	偉人・先人の生家・菩提寺が有ると思いますが、そこが荒れていると聞いた事がありますので、その様な観光資源の美化もリピーターの発掘になり何度も津山を訪れる事によって、それが定住にもなると思います。	埋もれた資源の活用
2	新しい計画、大きな箱物等はやめて、人口減、財政窮乏はやむを得ないので、ここで我慢して、現在のインフラ等生活が持続するように、橋・道・施設等が一日でも長持ちするよう、補強する計画を立てることが必要である。地道な計画としてもらいたい。 加茂川改良区の合理化事業も63年に完成し、30年を経過しており、今年来年で3,001万円の調査が市・県・国で行われています。 その後の安全管理の計画を総合計画に記載していただきたい。	埋もれた資源の活用
3	魅力あるまちづくりを目指して下さい	津山市の魅力づくりが必要
4	津山独自の魅力を、 の町津山とアピールする。	津山独自の魅力づくり
5	人口の増加より津山の価値を上げること。	津山の価値を上げる
6	都会にはない“津山ならでは！！”の街作り	津山の独自性の発揮
7	総合計画は、津山の柱を何にするか、目に見えるものを仕上げる。	津山の柱を何にするか明確に
8	津山市の魅力の向上(文化・産業・生活の利便性など)	魅力の向上